

# 大会要項

## “こくみん共済12サッカーリーグ in 北海道”兼函館東ライオンズクラブ旗争奪第43回函館地区ジュニアサッカー大会

- 1 主旨 函館の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2015年全日本少年サッカー大会函館予選とする。
- 2 名称 “こくみん共済12サッカーリーグ in 北海道”兼函館東ライオンズ杯争奪兼第43回函館地区ジュニアサッカー大会
- 3 主催 函館地区サッカー協会
- 4 主管 函館地区サッカー協会4種委員会・各会場担当チーム
- 5 期日 2015年4月29日（水）～9月6日（日） 天候により変動あり。
- 6 会場 各小学校グラウンド等
- 7 上位チーム  
大会上位3チームは全日本少年サッカー大会道南ブロック大会への出場権を与える
- 8 参加資格
  - ①「参加チーム」は、本年度実施年度に（公財）日本サッカー協会第4種及び女子に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること（準加盟チーム含）。
  - ②上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は、年間を通して継続活動していること。
  - ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。女子加盟登録チームに属する選手は、4種年代であること。また、U-6の選手は出場できない。
  - ④第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一クラブ内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
  - ⑤引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本協会公認コーチ資格（D級以上）を有すること。
  - ⑥「参加チーム」は必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
- 9 帯同審判員
  - ①出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員4級以上を帯同させること。
  - ②帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない同一チーム内の他の指導者、保護者が審判業務を行ってもよい。
- 10 参加チーム  
チーム編成は、指導者4名以内、選手16名以内とする。
- 11 複数登録
  - ①それぞれの登録チームごとにD級以上のライセンスを持った指導者がいること。
  - ②それぞれの登録チームごとに4級以上の審判資格を持った指導者がいること。

③それぞれの登録チームにかならずU-12の選手がいる事、当該年代未満の選手のみで構成されたチームの参加は認めない。

④複数チーム参加の場合、同ブロックには入れない。

## 12 選手登録

①大会期間中の16名未満のチームの場合の新規協会登録の選手の追加登録は認める。

②リーグ戦途中でのケガ・病気による選手変更は全日本少年サッカー大会の要項に準ずる。

③リーグ戦途中での同一チーム内の移籍は1次リーグ終了後とする。

④リーグ戦開始後の他チームへの移籍は、特別な理由がない限り移籍先での出場は認めない。（4種委員会で協議）

## 13 大会形式

リーグ戦方式とし、1次リーグを行う。1次リーグ上位2チームずつで、ブロックを構成し、2次リーグを行い、最上位ブロック3位までが全日本少年サッカー大会道南ブロック予選への出場権を得る。

## 14 競技規則

本年度(公財)日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」による。

## 15 競技のフィールド

①フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする(マウンドがない会場を優先する)。

②その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。

③ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。

④自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)

## 16 試合球

全日少公式4号球(公認球)とする。

## 17 競技者の数および交代

①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

②登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場できる。交代の回数は制限されない。

③交代の手続き

・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

・交代について、審判の承認を得る必要はない。

④ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

## 18 競技者の用具

①競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。

②選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

③ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォーム

を参加申し込みの際に記載し、各試合ごとに必ず携行すること。(FP・GK用共)

- ④審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
- ⑤ユニフォームの色・背番号の参加申し込み以降の変更は認めない。
- ⑥シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号をつけること。
- ⑦ユニフォームの番号は通し番号でなくてもよいこととする。

#### 19 テクニカルエリア

- ①テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ②その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

#### 20 審判員 1次リーグはすべて3人審判制, 2次リーグは1位ブロックのみ3人審判制で行う。

#### 21 時間試合

- ①試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は10分とする。
- ③暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。
- ②予選リーグでの順位決定の優先順位は次のようにする。
  - 勝点(勝-3、分-1、負-0)勝ち点と同じ場合は以下の方法で順位を決定する。
  - (1)当該チーム間の対戦成績
  - (2)当該チーム間の得失点差
  - (3)当該チーム間の総得点数
  - (4)ブロック内の得失点差
  - (5)ブロック内の総得点数
  - (6)当該チームでのPK戦
  - (7)1次リーグ, 2次リーグ共に、棄権試合が発生した場合そのチームの試合結果を、すべて0-5とする。

#### 22 警告・退場

- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ②本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ③大会において退場を命じられた競技者は、4種委員長, 大会運営担当4種副委員長, 大会担当チーム, 4種委員長から委託された2級以上の資格を持つ審判が協議し、函館地区サッカー協会規律委員長へ報告する。
- ④函館地区サッカー協会規律委員会の決定を受け、各チーム及び選手へ決定を伝え、決定事項を執行する。

#### 23 開会式 行わない。

#### 24 閉会式 道南ブロック代表チームのみ参加(上位3チーム)

#### 25 シード権

前年度のチビリンピック優勝, トラック協会杯ベスト4は第1シードとする, チビリンピック準優勝, トラック協会杯ベスト8を第2シードとする, 第2シードの5チームは抽選とする。

#### 26 その他

- ①大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止し、その後の対応については、4種委員長, 大会運営担当4種副委員長, 大会担当チーム, 4種委員長から委託された2級以

上の資格を持つ審判が協議し、函館地区サッカー協会規律委員長へ報告する。その決定を当該チームおよび選手に伝え、決定事項を執行する。

②荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。

③選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ等）については、当該チームの責任とする。

④大会要項に規定されていない事項については、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。

27 選手登録 別添ファイル（選手名簿）をEメールにて u12.fahakodate@gmail.com（4種事務局）小川までお願いします。申込期日 **4月10日（金）17:00**まで

28 その他 試合結果はその日のうちに（川島 政樹）まで連絡すること。

大会担当者 川島 政樹

メールアドレス morinokomorebi\_m\_m@yahoo.co.jp

携帯電話番号 080-1899-3096

29 参加料 未定